

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:令和6年3月1日

事業所名:おおぞらのいえ児童発達支援事業所

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	スペースは確保できている。状況に応じてパーテーションで区切るなどしている。	全員が「はい」の回答。	現状維持していきます。
	2 職員の適切な配置	指定基準は満たしている。職員募集・採用は随時行っている。	「はい」が14名、「わからない」が1名。	指定基準以上の配置を行い、充足しています。今後も職員体制の維持に努めます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	写真を使用した一日の流れ、イラストを使用しての物の配置場所の表示、個人のマークとひらがなでの名前の標記を行っている。	「はい」が14名、「わからない」が1名。	随時、利用児に合わせた支援を行っていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の掃除機がけ、アルコール消毒等を実施。運動時等には、椅子や机を倉庫に片付けるなど活動に合わせた環境作りを行っている。	全員が「はい」の回答。	清潔で心地よい空間作りに努めます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日のミーティングの中で、職員間で意見交換と情報共有を行うと共に、一日の振り返りと目標設定を行っている。		職員全員が、PDCAサイクルを活用し、より積極的に業務改善を進められるよう努めます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	児童発達支援事業所としては実施していない。		必要に応じて検討します。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	事業所内での虐待防止、救命(AED)等様々な研修を行っている。外部開催の研修にも参加している。		引き続き、内外研修に積極的に参加し、伝達研修を行い職員の資質向上に努めます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	計画案作成前に、保護者からのニーズの聞き取り、案作成後に保護者との面談を行い作成している。その後支援会議で職員間で周知している。	「はい」が14名、「どちらともいえない」が1名。	今後も、利用者及び保護者のニーズを踏まえた個別支援計画の作成に取り組みます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせた計画の作成を行っている。		今後も子どもたちの状況に応じた計画の作成を行います。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援に必要な項目を設定し、支援内容を毎日ケース記録に入力している。	「はい」が14名、「どちらともいえない」が1名。	引き続き、詳細に支援内容を記録していくと共に支援に必要な項目を設定していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	会議等で計画の内容を職員間で共有している。また、毎日のミーティングの中で情報交換を行い支援方法を統一している。	「はい」が14名、「どちらともいえない」が1名。	引き続き、個々の支援計画に沿った適切な支援を行えるよう努めます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	運営方針に基づき、年間行事やプログラムの基本内容を設定している。支援終了後、毎日職員ミーティングを行い翌日のプログラムを決定、共有している。		引き続き詳細なプログラム設定にチーム全体で取り組んでいきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	夏休み期間のみの受け入れなどの、ニーズに対応している。		引き続き対応していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	毎日のミーティングで利用児の年齢、特性に応じたプログラム内容の検討をしている。過去のミーティング記録を保管し、振り返りを行っている。	全員が「はい」の回答。	引き続き、固定化しないよう努め、保護者への情報提供も行っていきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前には、その日に報告を受けた利用児の家庭での様子等を含む情報交換を行い、再度確認を行っている。		引き続き、実施していきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後、毎日職員ミーティングを行い支援の振り返りを行っている。		引き続き、実施していきます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	支援記録を毎日記入している。毎日のミーティングでの支援の検証・振り返りによる改善を実施している。月末には担当者が評価を行い、職員間で共有している。		引き続き、詳細な記録と、検証・改善に努めます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期及び臨時にモニタリングを実施し、必要に応じて支援計画の見直しを行っている。		引き続き、実施していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	必要に応じて児童発達管理責任者、担当支援員の会議への出席、電話での情報共有に努めている。		引き続き、実施していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	※		※
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	※		※
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて、情報提供書類を作成したり、幼稚園等への訪問を実施している。		引き続き、情報共有に努めます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	※		※
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	センターとの利用児の情報交換を必要に応じて行っている。事業所連絡会の中での勉強会に出席している。		引き続き、情報共有・研修の受講促進に努めます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	以前は、保育園等の園庭開放等に参加していたが、コロナ禍以降は実施できていない。センター内の院内保育所との交流を再開している。	「はい」8名、「いいえ」が2名、「どちらともいえない」が2名、「わからない」3名回答あり。	引き続き、保護者への情報提供と状況に応じて交流を行っていきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所は総合リハビリセンター内にあり、例年センター行事に地域住民を招待している。利用児・保護者にも情報提供し、参加を呼びかけているが、コロナ禍となってからは実施できていない。		状況に応じて、実施していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	重要事項説明書や利用のしおりに沿って説明を行っている。	全員が「はい」の回答。	引き続き丁寧に説明を行っていきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画やモニタリング記録表に沿って、面談により説明を行い、保護者からの意見を収集したり、疑問をその場で解消できるようにしている。	全員が「はい」の回答。	引き続き丁寧に説明を行っていきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者会の中で勉強会や歓談の時間を設け、スキルアップや情報交換ができるようにしている。	「はい」が12名、「いいえ」が1名、「わからない」が2名回答あり。	引き続き、ペアレントトレーニングや子どもの発達について学べる機会を設定し、継続的な保護者支援が行えるよう努めます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎や来所時には、保護者からの子どもの様子を聞き取り、退室時にはその日の子どもの様子を個々に伝達し、課題についても話をしている。	「はい」が14名、「どちらともいえない」が1名。	引き続き丁寧に対応していきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	個別支援計画の更新の面談(随時)、保護者会(3回/年)、個別懇談会(2回/年)、その他必要に応じて面談を行っている。	「はい」が12名、「どちらともいえない」が1名、「わからない」が2名回答あり。	引き続き丁寧に対応していきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会の中で勉強会や歓談の時間を設け、スキルアップや情報交換できるようにしている。	「はい」が13名、「どちらともいえない」が2名回答あり。	引き続き、保護者同士の情報交換ができる場を設けられるよう努めていきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情解決責任者・担当者を配置、苦情受付箱を設置している。苦情対応体制に対する保護者への周知が不十分である。	「はい」が7名、「わからない」が8名回答あり。	必要に応じて丁寧に説明を行い、苦情に対しては迅速かつ丁寧に対応していきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子どもの特性に応じて、写真カードの使用など意思の疎通や情報伝達に努めている。	「はい」が14名、「わからない」が1名回答あり。	引き続き、子どもの特性に応じた配慮を行っていきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	施設全体の広報誌(年1回)、児童発達支援事業のおたより(毎月)の配布、行事予定一覧表と写真付の行事実績(報告)一覧表を年1回配布している。	「はい」が13名、「わからない」が2名回答あり。	引き続き充実していけるよう努めます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	おたより等への写真や氏名の掲載など確認書をお願いしている。条件付の掲載についても詳細に対応している。	「はい」が14名、「わからない」が1名回答あり。	引き続き注意して対応していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルは策定され、職員は周知しているが保護者への周知徹底は不十分である。	「はい」が13名、「どちらともいえない」が1名、「わからない」が1名回答あり。	必要に応じて丁寧に説明を行います。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	施設全体の避難訓練(毎月)を実施。	「はい」が12名、「わからない」が3名回答あり。	緊急時の対応については入所時に保護者に説明を行っています。施設全体としては毎月避難訓練を実施していますが、児童発達支援利用児に関しては年一回対象日の利用児が参加しています。
	3 虐待を防止するための職員研修機種の確保等の適切な対応	1回以上/年虐待防止研修への出席、出席した職員からの伝達研修を行い、振り返りのチェックシートを作成している。		継続していきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束は行っていません。		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	給食、おやつは提供していないため、医師の指示書は必要としていない。		食物アレルギーのある子どもの保護者への確認は随時行っています。保護者より医師の指示書の提出があった際は、適切に対応します。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	支援会議で情報共有と、ヒヤリハット検討を行うとともに、事例をファイリングし常に職員全員が閲覧できる状態にしている。		継続していきます。